

(第三種郵便物認可)

第三タンロン工業団地

住友商事が越で開発



河内部長付①と元治孝文主任

住友商事は、ベトナム・ハノイ市に隣接するビンフック省に「第三タンロン工業団地」を開発している。今年秋の完成を予定しており、17年7月から第一期の販売を開始した。日本仕様の高いインフラを提供し、海外における日本のモノづくりを支援する。

同工業団地はハノイ市中心部から44キロ、車で約50分の通勤圏内に位置する。ハノイの玄関口であるノイバイ国際空港まで22キロ、ハイフォン港まで160キロ、約2・5時間と利便性の高い立地となっている。新国道5号線や周辺道路の整備も進み、空港

日本のモノづくり支援

日本仕様の高品質インフラ提供

や港湾への物流は年々向上している。立地条件もさることながら、同工業団地の最大の強みは、最上級のハード

から団地内の変電所に専用線を引き、必要な電気を十分に提供することができる。上下水道についても安定した水質と水量を提供。降水確率計算もあって設計された雨水排水処理システムも完備し、災害に強く50年後も安心して操業できる環境を整えた。

ソフト面ではビンフック省と「ジャパンデスク」を設置しており、会社設立やインセクター取得、従業員の採用まで支援する。進出検討段階から操業後のフォローまで日本人によるフルサポート

工業団地のコンセプト。進出企業が生産に集中できるように、全面的にサポートしている」と話す。



河内部長付は「長年ベトナムで工業団地を開発してきた実績とノウハウを生かし、他社数々の企業が既に進出を構想している。成長著しいベトナムで進出企業の事業拡大を支えていく」と話す。

ハノイ市内にタンロン工業団地を設立、06年にはハノイ市街地から約50分のフィンエノン省に第三タンロン工業団地を設立した。両工業団地とも完売し、第三タンロン工業団地を造成することとなった。